

[授業科目名] 子どもの音楽総合 (522161)
General Survey of Children's Music II

[時間割担当] 永井正幸 青谷理子 堅田京子 辛島則子 阪口章子 中尾かつ江 中川美穂 林典子 門田成夫

[実施期] 後期 [単位数] 1

[曜日・時限] 火・1

科目の概要

子どもの音楽総合 に引き続き、音楽を通して子ども達の心を豊かにするための技術・表現を学ぶ。本科目では音楽劇及びピアノ演習を行う。授業の形式は、音楽劇の週とピアノ演習の週に分かれて行うこととする。音楽劇では歌唱・演劇・器楽演奏の融合による音楽表現の可能性について幅広く取り組む。ピアノ演習では、基礎に基づいた発展的な表現方法や演奏技術を学ぶために、グレード課題曲以外の楽曲も選択可能とする。実技試験は学内公開形式とする。

授業の内容

1. 音楽劇(演目及び配役・楽器担当者の決定)
2. ピアノ課題曲・自由曲(試験曲の選択)
3. 音楽劇(歌詞表現)
4. ピアノ課題曲・自由曲(試験曲の譜読み)
5. 音楽劇(ピアノ伴奏による歌唱)
6. ピアノ課題曲・自由曲(試験曲の練習方法)
7. 音楽劇(歌唱と演劇について)
8. ピアノ課題曲・自由曲(試験曲の楽曲研究)
9. 音楽劇(各種楽器による器楽演奏と合わせる)
10. ピアノ課題曲・自由曲(試験曲の楽曲表現)
11. 音楽劇(子どもに伝わる表現方法の研究)
12. ピアノ課題曲・自由曲(試験曲の暗譜)
13. 音楽劇(通し練習)
14. ピアノ課題曲・自由曲(試験曲の仕上げ)
15. 音楽劇(仕上げ)

実技試験

ピアノグレード課題曲の範囲

(なお、定期試験曲はグレード以外の楽曲を選択しても良い)

グレード1～4：バイエル3番～105番まで複数曲

グレード5～7：ブルクミュラー、ソナチネアルバム
巻・巻から複数曲

グレード8～9：ソナタアルバム 巻・巻から
複数曲

グレード10：自由曲

成績評価の方法

実技試験(定期試験)と平常点による評価。点数の割合は、定期試験(音楽劇50% ピアノ40%)・平常点10%とする。

教科書・テキスト

音楽劇のテキストは、初回授業時に指示する。
ピアノ課題曲・自由曲の楽譜は適宜指示する。

参考書

適宜指示する。

授業時間外の学修について

日常の練習時間を確保して、授業に臨むこと。

各種演奏・音楽表現に役立てるためにも、様々な音楽分野について調べることを推奨する。

履修上の留意事項

器楽 ～ を履修済みであること。

オフィスアワー

月曜日2限

担当教員への連絡方法

4-603 研究室

大学メールアドレス : m-nagai@osaka-aoyama.ac.jp

その他

[授業科目名] 子どもの音楽総合 (522161)
General Survey of Children's Music II

[時間割担当] 永井正幸 堅田京子 辛島則子 永井淳子 中尾かつ江 中川美穂 林典子 門田成夫

[実施期] 後期 [単位数] 1

[曜日・時限] 火・2

科目の概要

子どもの音楽総合 に引き続き、音楽を通して子ども達の心を豊かにするための技術・表現を学ぶ。本科目では音楽劇及びピアノ演習を行う。授業の形式は、音楽劇の週とピアノ演習の週に分かれて行うこととする。音楽劇では歌唱・演劇・器楽演奏の融合による音楽表現の可能性について幅広く取り組む。ピアノ演習では、基礎に基づいた発展的な表現方法や演奏技術を学ぶために、グレード課題曲以外の楽曲も選択可能とする。実技試験は学内公開形式とする。

授業の内容

1. 音楽劇(演出及び配役・楽器担当者の決定)
 2. ピアノ課題曲・自由曲(試験曲の選択)
 3. 音楽劇(歌詞表現)
 4. ピアノ課題曲・自由曲(試験曲の譜読み)
 5. 音楽劇(ピアノ伴奏による歌唱)
 6. ピアノ課題曲・自由曲(試験曲の練習方法)
 7. 音楽劇(歌唱と演劇について)
 8. ピアノ課題曲・自由曲(試験曲の楽曲研究)
 9. 音楽劇(各種楽器による器楽演奏と合わせる)
 10. ピアノ課題曲・自由曲(試験曲の楽曲表現)
 11. 音楽劇(子どもに伝わる表現方法の研究)
 12. ピアノ課題曲・自由曲(試験曲の暗譜)
 13. 音楽劇(通し練習)
 14. ピアノ課題曲・自由曲(試験曲の仕上げ)
 15. 音楽劇(仕上げ)
- 実技試験

ピアノグレード課題曲の範囲
(なお、定期試験曲はグレード以外の楽曲を選択しても良い)
グレード1～4：バイエル3番～105番まで複数曲
グレード5～7：ブルクミュラー、ソナチネアルバム
巻・巻から複数曲
グレード8～9：ソナタアルバム 巻・巻から
複数曲
グレード10：自由曲

成績評価の方法

実技試験(定期試験)と平常点による評価。点数の割合は、定期試験(音楽劇50% ピアノ40%)・平常点10%とする。

教科書・テキスト

音楽劇のテキストは、初回授業時に指示する。
ピアノ課題曲・自由曲の楽譜は適宜指示する。

参考書

適宜指示する。

授業時間外の学修について

日常の練習時間を確保して、授業に臨むこと。
各種演奏・音楽表現に役立てるためにも、様々な音楽分野について調べることを推奨する。

履修上の留意事項

器楽 ～ を履修済みであること。

オフィスアワー

月曜日2限

担当教員への連絡方法

4-603 研究室

大学メールアドレス : m-nagai@osaka-aoyama.ac.jp

その他